

7月5日（福祉科介護実習壮行会挨拶）

## あなたを待っている人へ、元気と笑顔を届けよう

車の助手席に乗っている人が、ウトウトしてくると運転手まで眠くなってきて危ないと言われていました。同じように隣の人があくびをすると、自分もつい眠くなってきたように感じて、あくびが出ることがあります。なぜあくびは伝染するのでしょうか。それは、人間は他人に対して共感したり関心を抱くことがベースにあるかららしいです。

同じように笑顔も伝染するんです。一つの笑顔が、二つになり、三つになり連鎖していきます。マザーテレサという名前を聞いたことがあると思います。20年ぐらい前にお亡くなりになりましたが、インドの貧しい方々とともに生きた方です。マザー・テレサは「笑顔には想像もできないほどの可能性がある」とおっしゃっています。笑顔は年齢、性別など関係がない、世界共通の言葉です。「笑顔は1ドルの元手もいらぬが、100万ドルの価値を生み出す」と言った世界的な作家もいます。

各施設では「7月8日から口加高校の生徒さんが来ますよ」と宣伝されています。施設を利用されているおじいさんやおばあさんは皆さんを孫のように思ってください。みんなは太陽のような存在です。そこにいるだけで周りがパッと明るくなるのです。皆さんをまっている方々へ、元気と笑顔を届けてください。元気と笑顔は感染力がものすごくつよいですから。

みなさんが行くのは「実習」です。つまり実際の現場で習いに、また学びに行くのです。まだ皆さんは未熟なんです。知らなくて当たり前、分からなくて当たり前、上手いかわりに当たり前、間違っただけ当たり前なんです。しかし、2、3年生の先輩方には去年から「人生に失敗はない」と言っています。失敗と書いて「せいちょう」と読む、と言っています。いろいろなことにチャレンジして成長して帰ってきてください。

また、介護技術コンテストに参加する池田さん、多良さん、藤下さん。本校福祉科の初陣、初出場になります。間もなく高校野球の甲子園予選が始まりますが、全国には甲子園に何十回も出場している伝統校もあります。しかし、最初から伝統校だったり、甲子園常連校の学校は一つもありません。どの学校にも初出場があったのです。そこから先輩から後輩へと様々な経験が受け継がれていく中で、だんだんと強くなり、全国大会の常連校になっていったのです。ここにいる17名から口加高校の福祉科の歴史が始まります。また、介護技術コンテストの歴史も始まります。初出場ですから、思い切りぶつかってください。

い。□加高校の福祉科が介護技術コンテストの全国大会常連校となる第一歩目です。他校には2年生や3年生の先輩たちが出場してくると思いますが、臆することなく思い切りやってきてください。いい結果を期待しますが、それ以上に、私が期待しているのは悔しさや課題を沢山持ち帰ってくれることです。□加高校で「がんばる」はどう書きますか。そうですね「顔晴る」です。

では、介護実習も介護技術コンテストも顔晴ろう！！ □加！！